

全国各地の予選を勝ち抜いた代表選手が決定！ “きき酒日本一”を決める「第44回全国きき酒選手権大会」、 11月15日(土)東京・大手町でいよいよ開催！！



写真は前回大会「第43回全国きき酒選手権大会」

ユネスコ無形文化遺産に登録された「伝統的造り」に関わる日本酒業界最大の団体である日本酒造組合中央会(以下、中央会)では、「第44回全国きき酒選手権大会」を、11月15日(土)に大手町プレイス ホール&カンファレンス(東京都千代田区)にて開催いたします。

■地方予選を勝ち抜いた代表選手がついに決定！！

このほど、全国各地で開催された予選会において熱戦を勝ち抜いた代表選手が決定し、全国大会本戦への切符を手に入れました。日本酒の香り、味わい、色を頼りに五感を駆使して酒質を見極め“きき酒”の技を競うこの大会は、日本酒ファンにとって年に一度の頂上決戦。地域の誇りを胸に、各地の代表が日本一の座を懸けて挑みます。

なお、全国大会の出場選手数は計73名(予定)となり「一般の部」の代表選手は「個人戦」と、2名の合計点で競い合う「団体戦」の2カテゴリーで“きき酒日本一”の座をかけます。

さらに、特別枠として、「大学生対抗の部」19大学24チーム48名が大学生きき酒日本一を目指して競います。また、昨年新設された「社会人日本酒愛好会対抗の部」12チーム24名も同時開催し、さらなる熱戦が期待されます。

※大会の様子はYouTube(<https://www.youtube.com/live/yT1RihbTpgc>)にてライブ配信を行います。

■本大会の見どころ

1. 全国で予選を勝ち抜いた精鋭が東京に集結し真剣勝負

全国各地で開催された地方大会を制した“きき酒の達人”たちが一堂に会する年に一度の頂上決戦！
出場者は20代から70代までの幅広い年代の選手が参加し、国内最高峰のレベルで開催される大会です。
真剣勝負の競技シーンや、表彰式の優勝発表シーンは必見です。

2. 多彩な競技部門による世代を超えた交流

大学生対抗の部や社会人日本酒愛好会対抗の部など、多彩な競技部門の開催を通じ、若手からベテランまでが参加。
懇親会の風景では、世代を超えた交流や日本酒文化の広がりも注目！

3. 昨年優勝者による特別講演を実施

前回大会の優勝者が登壇し、きき酒競技のトレーニング法や日本酒との向き合い方を語る特別講演も開催。
チャンピオンの視点から競技の魅力や奥深さについて自らの経験を基に語っていただきます。

■コメント(主催者より)

「本大会は、日本酒の香りや味わいを見極める“きき酒”の技術を通じて、日本酒の奥深さを再発見していただく場です。今年も日本各地から厳しい予選を勝ち上がった代表が集まり、また、大学生対抗の部や社会人日本酒愛好会対抗の部も過去最高の参加者をむかえました。熱気にあふれた大会になることを期待しています。」

日本酒造組合中央会理事 宇都宮 仁(うつのみや ひとし)

競技の後には懇親会も開催され、全国の銘酒を試飲できるコーナーや、熱戦を繰り広げてきた全国の日本酒好きの仲間が一堂に会し交流できる大変貴重な機会となっております。

<参考資料>

「第44回全国きき酒選手権大会」代表選手一覧

■一般の部(都道府県代表)

37都道府県73名

1	北海道	岡島 和也	牧野 智樹
2	青森	根市 貴之	鏡 功大
3	岩手	阿部 輝	佐藤 剛広
4	宮城	横山 未央	丸山 和弥
5	秋田	荻野 俊寛	立石 穂乃香
6	福島	八子 芳樹	國分 健一郎
7	山形	櫻井 孝之	菅原 功雄
8	茨城	小池 永男	富樫 達識
9	栃木	大垣 崇	柳谷 充男
10	群馬	島崎 直也	小俣 光弘
11	埼玉	齋藤 竜也	小林 治
12	千葉	松尾 竜世	小林 舞香
13	東京	江戸 幸則	植田 憲尚
14	神奈川	正木 大和	中野 成幸
15	山梨	内藤 浩二	狩野 英美
16	長野	林 直哉	原田 友美
17	新潟	渡辺 英雄	後藤 勝
18	福井	樋口 逸一	岡田 大士
19	静岡	菊池 恒輔	鈴木 良一
20	愛知	稲葉 万結	林 かおり
21	三重	松本 匠美	永井 満
22	滋賀	川村 俊哉	西村 真哉
23	京都	福井 愛	北川 信彦
24	大阪	北村 奈緒美	日爪 祐子
25	兵庫	宮明 峻矢	虫島 美穂
26	奈良	西本 康二	山本 貴典
27	和歌山	宮城 達也	宮本 真羽
28	山口	石丸 大志	早川 武徳
29	徳島	松永 直人	宮本 乃惟
30	香川	相原 真紀	岡 真由香
31	愛媛	森 麻紀	越智 恵子
32	高知	庄司 真智	山崎 洋
33	福岡	佐藤 有美	戸田 真登
34	佐賀	内田 三佳	東島 幸道
35	熊本	永田 公作	原田 翔太
36	大分	杉崎 昌子	松山 由香
37	鹿児島	藏 蘭 秀伍	

■大学対抗の部

19大学24チーム48名

1	北海道	北海学園大	大橋 拓哉	土井 伸晃
2	宮城	東北大A	市川 晴貴	田村 航遥
3	宮城	東北大B	三嶋 醇	ZHANG RUIQI
4	東京	東京理科大	岩切 蒼真	橋口 遼太朗
5		成蹊大	朝長 優太	五十嵐 幸太
6		東京農業大A	梅村 誠太	天野 翔仁
7		東京農業大B	櫻木 智英	川村 柊二郎
8		立教大	奥平 宇星	長井 俊樹
9	神奈川	明治大	伊藤 千夏	森 佳音
10	長野	信州大	伊達 悠喜	大泊 龍貴
11	新潟	長岡技術科学大	山本 力也	門田 倫
12		新潟大A	滝沢 倖大	古屋 順晟
13		新潟大B	瀬良 虎之輔	大瀧 滉人
14	石川	金沢大	林 芙優	吉野 将太郎
15	愛知	名城大A	菊池 尚之	石川 桃子
16		名城大B	奥田 光貴	張 梓峰
17	京都	京都大A	恒川 平	藤川 太壱
18		京都大B	懸川 怜	村松 拓実
19		同志社大	長尾 隼斗	勝瀬 まりな
20	和歌山	和歌山大	小林 聖弥	西村 裕太郎
21	広島	広島大	布川 恭大	佐崎 凌佑
22	愛媛	愛媛大	金田 彩果	兼村 祐太
23	佐賀	佐賀大	猪股 寛大	鈴木 伸太郎
24	熊本	崇城大	濱田 恭輔	荒木 颯太

■社会人日本酒愛好会対抗の部

チーム名

12チーム24名

1	HPE実業団日本酒部	辻 晋明	山本 幸治
2	SDT日本酒部	吉田 和正	細谷 和正
3	MJPM日本酒文化研究会	田本 有美	高橋 知之
4	オレンジページ日本酒部	村上 理恵	田中 希使
5	鹿島建設SAKECLUB	富田 泰貴	木村 恭之
6	J's SAKE Lovers	行武 百恵	新田 圭
7	全国商工会日本酒部	古森 久義	佐々木 淳
8	SOMPO日本酒部	池田 むつみ	佐川 龍一
9	東京共済病院日本酒部	山田 啓熙	賀来 俊顕
10	日本の酒をとことん呑む会	佐野 貴浩	石川 裕地
11	ローソン日本酒愛好会	吉良 省悟	名兒耶 篤史
12	NO 日本酒 NO LIFE	加藤 伸行	石栗 桜

【過去の団体・個人・大学優勝一覧】

	実施年	団体の部 優勝	個人の部 優勝	大学対抗の部 優勝	社会人日本酒愛好会対抗の部 優勝
第43回	2024年	大阪府	新潟県 伊庭洋	東北大学	MJPM 日本酒文化研究会
第42回	2023年	福島県	福井県 白井聡 京都府 植松みなみ	筑波大学	---
第41回	2022年	熊本県	香川県 有村 和彦	千葉大学	---
第40回※	2021年	---	東京都 刀禰 俊哉	---	---
第39回	2019年	青森県	山形県 横山 千広	横浜国立大学	---
第38回	2018年	宮城県	長野県 高橋 嗣明	京都大学	---
第37回	2017年	高知県	熊本県 羽矢 治郎	東京大学	---
第36回	2016年	高知県	東京都 早川サトル	東京農業大学	---
第35回	2015年	千葉県	秋田県 工藤 功一	成城大学	---
第34回	2014年	滋賀県	宮城県 本郷 憲吉	明治大学	---
第33回	2013年	長野県	長野県 由井 志織	東京農業大学	---
第32回	2012年	群馬県	秋田県 谷口 秀明	---	---
第31回	2011年	群馬県	大阪府 西村 百代	---	---
第30回	2010年	長野県	長野県 中西 康裕	---	---
第29回	2009年	高知県	兵庫県 瀧村 健治	---	---
第28回	2008年	山口県	千葉県 青木 三枝子	---	---
第27回	2007年	島根県	福島県 菅野 寛子	---	---
第26回	2006年	島根県	静岡県 松永 安代	---	---
第25回	2005年	佐賀県	三重県 川口 雅生	---	---
第24回	2004年	鳥取県	岩手県 三浦 達也	---	---
第23回	2003年	鳥取県	鳥取県 福本 功	---	---
第22回	2002年	静岡県	静岡県 竹田 京子	---	---
第21回	2001年	滋賀県	埼玉県 荻野 和秀	---	---
第20回	2000年	宮城県	東京都 川口 史恭	---	---
第19回	1999年	大阪府	大阪府 鈴木 利正	---	---
第18回	1998年	宮城県	埼玉県 桑島 裕	---	---
第17回	1997年	茨城県	茨城県 古賀 聡	---	---
第16回	1996年	岩手県	岩手県 上野 律子	---	---
第15回	1995年	愛知県	岩手県 堺 伸也	---	---
第14回	1994年	大阪府	大阪府 井上 稔	---	---
第13回	1993年	東京都	宮城県 目黒 敬章	---	---
第12回	1992年	岩手県	長野県 金子 淳子	---	---
第11回	1991年	茨城県	静岡県 内藤 啓司	---	---
第10回	1990年	山口県	長野県 浅原 利一	---	---
第9回	1989年	新潟県	東京都 佐藤 文雄	---	---
第8回	1988年	埼玉県	大分県 河内 邦英	---	---
第7回	1987年	佐賀県	佐賀県 松永 博子	---	---
第6回	1986年	青森県	埼玉県 楠田 卓也	---	---
第5回	1985年	埼玉県	熊本県 荒木 佳津子	---	---
第4回	1984年	鳥取県	北海道 加藤 利一	---	---
第3回	1983年	秋田県	山口県 吉本 明美	---	---
第2回	1982年	奈良県	山形県 井上 隆史	---	---
第1回	1981年	千葉県	鳥取県 岡本 常雄	---	---

※2021年は、新型コロナウイルス感染症対策としてきき酒競技と日本酒実力テストをオンラインで開催。

<団体の部>

3回 鳥取県・高知県・宮城県
2回 青森県・岩手県・茨城県・群馬県
・埼玉県・千葉県・長野県・滋賀県
・大阪府・島根県・山口県・佐賀県

<個人の部>

5回 長野県
4回 東京都
3回 岩手県・埼玉県・静岡県・大阪府
2回 宮城県・秋田県・山形県・鳥取県
・熊本県

■「第44回全国きき酒選手権大会」開催概要

正式名称	第44回全国きき酒選手権大会
開催日時	2025年11月15日(土)12:00～17:30(11:30～受付)
会場	大手町プレイス ホール&カンファレンス 東京都千代田区大手町2-3-2 プレイス(イーストタワー2階) https://otemachi-place-hc.jp/
主催	日本酒造組合中央会
料金	無料
公式HP	https://japansake.or.jp/sake/kikisake/guide/index.html
実施内容	①各都道府県(個人戦／団体戦)2名1チーム ②大学対抗の部:2名1チーム ③社会人日本酒愛好会対抗の部:2名1チーム
競技区分	筆記試験／きき酒競技(マッチング法)
入賞賞品	●参加者には、参加証をお送りします。 ●成績上位3位には賞状と賞品を差し上げます。
スケジュール (予定)	12:25 筆記試験 13:00 きき酒競技 13:40 講演会(前年度優勝者トークショー／大学・社会人活動報告) 14:50 プレーオフ／伝統的酒造り特別講演 15:30 懇親会・表彰式 17:30 閉会

■「第44回全国きき酒選手権大会」当日ライブ配信URL(YouTube) https://www.youtube.com/watch?v=M5OGSupzlt8

<「全国きき酒選手権大会」について>

日本酒の味や文化を幅広い方に知っていただくことを目的に、1981年にスタート。年齢・性別・国籍を問わず一般参加者を対象とし(未成年者及び酒類関係者を除く)、各都道府県の代表者が、日本酒に関する筆記試験と、7種類の日本酒について味や香りを確かめながら判別する「きき酒」を実施し、日本一を競います。

■審査の基準は2種類

審査の基準は、日本酒に関する設問に答える「筆記試験」と、日本酒7種を適合する「マッチング法」の2種類。筆記試験は、日本酒好きでも即答が難しい問題が30問出題されます。多種多様な表情を持つ日本酒を見極め、精緻な評価をスピーディに行うマッチング法は、7種類のバラエティに富んだ酒質を色や香り、味わいからきき分け、個々に好きな順位をつけます。さらにもう一度きき酒し、1回目に自分でつけた順位と照合。整合性が取れているほど、点数が高くなります。

<日本酒造組合中央会について>

全国約1,600の日本の伝統ある酒類(日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりん)メーカーが所属する日本酒業界最大の団体。酒類業界の安定と健全な発展を目的とし、1953年に設立。ユネスコ無形文化遺産に登録された「伝統的酒造り」により生み出される「國酒(こくしゅ)」である日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりん等について魅力を広めることにより、世界の食文化の多様性に貢献し、国内外の需要拡大につなげる活動に取り組んでいます。

■公式HP: <https://japansake.or.jp/sake/>

<「清酒」と「日本酒」 呼称の違いについて>

「清酒」(Sake)とは、海外産も含め、米、米こうじ及び水を主な原料として発酵させてこしたものを広く言います。「清酒」のうち、「日本酒」(Nihonshu / Japanese Sake)とは、原料の米に日本産米を用い、日本国内で醸造したもののみを言い、こうした「日本酒」という呼称は地理的表示(GI)として指定・保護されています。

※海外産米を用い、又は海外で醸造した「清酒」、「SAKE」のことを「日本酒」と表記することは誤りとなります。



【報道関係者からのお問い合わせ先】

日本酒造組合中央会PR事務局

TEL:03-6274-8386 MAIL:japansake@honeycom.co.jp